

# 平成 30 年度事業報告

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

## 【概況】

当法人は、昭和 39 年 1 月の創設以来、日本の文学・哲学・教育・美術等の各分野に多大な影響を与え、東洋の精神文化の基幹をなしてきた禅及び禅文化を、総合的に研究し、その成果を普及して、広く世界の人類文化に貢献する事業を展開してきた。

本年度も禅文化の普及に努め以下の活動を行なった。

禅文化の普及事業（公益目的事業）では以下の活動を行なった。

調査研究活動では、中国禅宗史・禅語録研究班をはじめ各研究班が従来通りの研究を継続、成果としての刊行にむけての作業を進めている。

資料収集・資料公開活動では、デジタルアーカイブスとして禅宗寺院が所蔵する文化財を電子データとして記録し保存する事業を本格化し、一般寺院所蔵の宝物のデジタルアーカイブ整備事業も進んでいる。30 年度は滋賀県瓦屋寺、大本山南禅寺、大分県自性寺などの所蔵品の悉皆調査を行なった。

広報・普及活動では、公開講演会や、様々なメディアを利用して禅文化の普及に努めた。書籍等の刊行として『江湖法式梵唄抄 改編版』『イヤイヤきたえる健康法』『ランカーに入る』『坦翁禅話』や『2019 年禅語こよみ』などを刊行した。

収益事業では、宗教法人管理システム「擔雪Ⅱ」の販売やサポート、臨済宗や他宗派の宗務所管理システムの機能追加への対応や保守サービスなどを行なった。

共益事業では、遠諱事業を中心とした臨黄合議所関連の業務を行なっている。

## I. 禅文化普及事業（公益目的事業）

### 〈1〉調査・研究活動

#### 1. 中国禅宗史・禅語録研究班

当法人は、設立以来語録研究班を組織し、禅文献のうち最重要とされる中国唐宋時代の禅語録を継続して会読している。これらは禅の語録を、唐代・宋代の中国語の口語研究を踏まえ、語彙や文体の変遷と思想史の脈絡にしたがって読解してゆくものである。その成果は、唐宋の思想史解明に新たな観点を提供するものとなり、また、唐宋の口語研究に寄与するものとなる。

参加メンバーは仏教学、哲学、文学、中国語学などの研究者や学生、一般からの参加者などで構成され、学際的な雰囲気の中で研究が行なわれている。

#### 唐代語録(『祖堂集』)研究会〔班長 西口芳男〕

『祖堂集』は『景德伝灯録』の編集に先立つこと 52 年、完存する禅宗灯史の書として

は現存最古のものであり、現代の禪に直結する唐五代の禪の資料の古層をなすものとして貴重である。北宋初期の当時の最高の知識人の刊削裁定を経た『伝灯録』に比べて、野趣に富んだ生の資料を提供してくれるものであり、口語研究の資料としても、近年、とみに注目を集めている。既に 40 年前、この研究班では、入矢義高・柳田聖山の指導のもとに読まれ、当時の原稿によって『訓注祖堂集』（国際禅学研究所報告第 8 冊、2003 年）として当時の成果が発表されている。今回は『祖堂集』を成立させた福州の雪峰教団の禪師をメインにして深く読み進め、『祖堂集』成立の背景を探ることを目的とする。

今年度は、巻十一の保福和尚章第五三則より読みはじめ、雲門和尚章一三則、齊雲和尚章（全二五則の）第四則までの計一十九則を読み進んだ。また『祖堂集』巻一〇訳註（二）」として鏡清和尚章第一則～第一〇則までの訳註を『禅文化研究所紀要』第 34 号（2019 年 2 月 28 日発行）に掲載した。

研究会の開催日は、2018 年 4/27、5/11、5/25、10/12、11/23、12/14、2019 年 1/11、2/8、2/22、3/8。

講師：衣川賢次（花園大学教授）

班員：川島常明（大通院住職）／松岡由香子（山水庵庵主）／久保讓（花園大学科目等履修習生）／鈴木洋保（花園大学非常勤講師）／鈴木史己（南山大学講師）／土屋昌明（専修大学教授）／呉進幹（杭州佛学院留学生・花園大学博士後期課程：戒法法師）／林芬妙（花園大学博士後期課程：台湾留学生）／陳菲（花園大学修士前期課程：中国留学生：法名空慧）／藤田和敏（相国寺寺史編纂室研究員）／羅旌超（花園大学大学院：中国留学生：法名道悟）／李セン [王+宣]（四川大学中国俗文化研究所教授：京都大学人文科学研究所外国人研究員）／吉本えみり（一般人）

#### 「神会語録」研究会〔班長 西口芳男〕

敦煌写本禅宗文献の中で最も重要なものの一つに神会関係のものがある。神会の語録の校訂本には、つとに、胡適氏、鈴木大拙氏のものがあるが、敦煌博物館本やいくつかの断片写本が出揃うと、従来の校定には限界のあることがわかり、新たな定本、正確な訳文、詳細な注釈の作成が待たれていた。本会ではこの点を重視した読解を進めてゆく。

今年度は、休会となった。

班員：衣川賢次（花園大学教授）／中島志郎（花園大学教授）／北畠利信（花園大学非常勤講師）／松岡由香子（山水庵庵主）／千田宗琢（花園大学非常勤講師・国際禅学研究所研究員）／久保讓（花園大学科目等履修習生）

#### 「景德伝灯録」研究会〔班長 西口芳男〕

禅語録中、最も基本的かつ重要な文献である『伝灯録』全 30 巻を、近年の日中両国の中国口語史研究の成果を踏まえて、千八百の古則公案といわれる問答の一つ一つの意味を解明することに重点を置き読解を進めている。

今年度は、巻一七の後洞山師虔（9 則）・洛京白馬遁儒禅師（7 則）・越州乾峰和尚（4 則）・吉州禾山和尚（3 則）・明州天童山咸啓禅師（3 則）・潭州宝蓋山和尚（4 則）・益州北院通禅師（9 則）・高安白水本仁禅師（7 則）までを読み進んだ。

2019 年 3 月 31 日の研究会では、大阪市立大学名誉教授三浦國雄先生の講演（演題：「日本漢学的“読原著”伝統——老書生的回憶——」）；司会：衣川賢次；花園大学拈華館 103 号教室）を開催した。

また『景德伝灯録』巻十七雲居道膺章・曹山本寂章訓註』として『禅文化研究所紀要』第34号(2019年2月28日発行)に掲載した。

研究会の開催日は、2018年5/27、7/29、9/11、11/18、2019年1/6、3/31。

班員：衣川賢次(花園大学教授)／松岡由香子(山水庵庵主)／千田宗琢(花園大学非常勤講師)／久保讓(花園大学科目等履修習生)／三浦國雄(大阪市立大学名誉教授)／土屋昌明(専修大学教授)／下定雅弘(岡山大学名誉教授)／末木文美士(国際日本文化研究センター教授)／齊藤智寛(東北大学教授)／石野幹昌(名古屋大学大学院博士課程)／石井修道(駒澤大学名誉教授)／小川隆(駒澤大学教授)／中木 愛(龍谷大学専任講師)／吳進幹(杭州佛学院留学生：花園大学博士後期課程：戒法法師)／林芬妙(花園大学博士後期課程：台湾留学生)／亀 滋廣(平林寺僧堂教育研究主任・東京禅センター補佐員)／岡部 恒(株式会社 恒英 代表取締役)／佐々木奘堂(大阪市天正寺住職)／中西久味(新潟大学名誉教授)／ヴィンセント ブルーゲム(ロンドン大学仏教学研究)

## 2. 禅宗經典研究班

禅文献に関わる經典類のうち、これまで未開のものについて独自の研究を進めると共に、臨済宗で常用される經典についても、現代に即した内容や形態は何かを究明し、一般に普及する方策を考える。

### 「楞伽經」研究会〔班長 常盤義伸(花園大学名誉教授)〕

禅文献と深い関わりをもつ『楞伽經』研究は、学界の未開分野とも言われ、長い間、十全な研究がなされてこなかったが、常盤義伸教授は、『楞伽經』四卷本を基に、南条文雄博士校訂梵文を再構成し、世界で初めて完全英訳・和訳を成し遂げた。

本研究会は、常盤義伸著『楞伽宝經四卷本の研究』をテキストとして、梵本と求那跋陀羅三蔵の漢訳本を対比しながら読み進めている。

本年度は常盤義伸(花園大学名誉教授)著『大乘仏教經典『楞伽經』四卷本 ランカーに入る——すべてのブッダの教えの核心——復元梵文原典 日本語訳と研究』(禅文化研究所)を2018年7月30日に出版した。これをもって、本研究会を終了する。

班員：西口芳男(禅文化研究所)／小嶋孝(東洋大学大学院哲学専攻・仏教学専攻博士前期課程終了)／種村辰男(塾講師、FAS協会会員)／嶋本浩子(日本経済大学神戸三宮キャンパス非常勤)

### 臨済宗經典研究〔班長 西村恵学〕

現代の臨済宗で常用されている經典について、その声明や経本を中心に整理し、現代人に受け入れやすいものを考え、一般に普及するような方策を考慮して制作する。

今年度は妙心寺派梵唄講師である吹田良忠師監修の『江湖法式梵唄抄』改編版を30年4月に刊行した。

## 3. 哲学研究班〔幹事 森 哲郎〕

平成30年度も、「大蔵会」の仏典研究会、西田哲学研究会と西谷研究会を上田閑照先生の間接的な御指導のもとに、各々、年間4回ほど開催した(幹事の森が病気のため半年ほど直に参加できなかったが、哲学班のメンバー大橋良介氏や秋富克哉氏が代わりの幹事を引き受けて下さった。上田先生は宇治に転居されたために、先生との面談は幹事の他少数のメンバーであるが継続してなされている。昨年11月の文化功労賞の授受も宇治でなさ

れたが、森と秋富氏が立ち合いを求められた)。

「大蔵会」では世親の『唯識三十頌』の講読研究の後、継続して『成唯識論』に取り組んでいる。チューターは大井和也氏が務め、参加者は十数名であるが、各自熱心に取り組んでいる。

西田哲学研究会では、主著の『働くものから見るものへ』を読了して、目下『一般者の自覚的体系』の第一論文「所謂認識対象界の論理構造」に取り組んでいる。西谷研究会では、夢窓国師の『夢中間答』を継続輪読した後に、西谷先生の後期の作品の講読研究として『禅の立場』の読了後、目下、『大谷講義』（著作集第 24 巻）に挑戦中である。大学院生など若い人々の参加が多くなりつつある。

#### 4. 日本禅宗史・禅語録研究班

日本の伝統教団を形成した祖師たちの伝記や語録を体系的に整備し、現代的に解釈することを目的とする。班員は所員を中心としたメンバーで構成する。

##### 江湖開山等語録研究〔担当 能仁晃道〕

臨済宗各派寺院の協力により、開山・中興開山等が残した語録類を整理し、訓注を行なう。本山以外の寺院に残る語録類の訓注は、殆どなされておらず、日本禅宗史上重要なものが多い。今年度は、昨年度より継続の『如幻三昧集』を 30 年 6 月 20 日に刊行したほか、『古月四会録』、徹翁義亨『徳禅寺法度』、『平林寺開山語録』の訓注を行なった。また、継続中であった月船禅慧『武溪集訳註』を 31 年 4 月 11 日に刊行した。

##### 天龍寺史研究班〔担当 藤田琢司〕

大本山天龍寺の委託を受け平成 28 年度より発足。慶長 6 年（1601）以降の天龍寺関係史料を年代順に収める『天龍寺史』近世編の編纂作業を行う。昨年度に引き続き『年中記録』を初めとする寺蔵の近世記録・文書の整理および内容把握を行うとともに、本年度より数名の人員により『年中記録』の翻刻、電子化作業を開始した。寺外所蔵史料の調査も必要に応じて行う予定。

夢窓録研究会を 4 月 11 日・6 月 13 日・8 月 30 日・10 月 11 日・12 月 13 日・2 月 20 日の 6 回、天龍寺史編纂室を会場として開催し、開山夢窓疎石の『夢窓国師語録』の読解を行った。管長・宗務総長・教学部長ほか山内の僧侶、および山外の研究者が出席、藤田がレジュメにて報告し、禅文化研究所西口が補足報告を行なった。

将来は本研究会の成果をまとめ、従来一部のみの刊行に留まっている『夢窓国師語録』上下 2 巻全体の訓注の完成・刊行を目指す。

##### 『延宝伝灯録』研究〔担当 阿部理恵〕

日本の禅僧・居士ら約千人の伝記を、卍元師蛮が撰述した『延宝伝灯録』の訓注作業を行なう。本書は江戸時代までの日本禅僧の伝記の集大成として位置づけることができるが、歴史学の成果に加えて難解な禅語の知識が不可欠であったため、従来訓読等が刊行されたことはなかった。今年度は内容見直しのため休止とした。

#### 5. マルチメディア研究班〔班長 西村恵学〕

印刷物をはじめ、音声、映像、ホームページなど、多様なメディアを通して現代人に禅をわかりやすく伝える方策を研究する。平成 30 年度には、禅のこころを生かしたミニ・

カレンダーである「2019年禅語こよみ」（湯島麟祥院蔵品より）を刊行したほか、「イヤイヤきたえる健康法」や「坦翁禅話」を刊行した。

また、DVD禅僧が語るシリーズでは、平成30年4月に妙心寺派管長・小倉宗俊老師の「鬼手仏心」刊行し、永源寺派管長・道前慈明老師の「愚の如く」の収録と編集を行なった。

## 〈2〉資料収集・資料公開活動

### 1. デジタルアーカイブス

禅の文化として大切に遺されてきた書画を中心としたアーカイブを、劣化しないデジタルデータとして保存していくことを目的とする事業。当初、7年を目途として活動してきたが、要望が多いため、今後も各地での調査を継続している。

将来的には、以下のような事業を通して蓄積した画像と資料に基づいて、「禅文化財WEB博物館」（仮称）を制作し、国内外にバーチャル博物館として、禅の文化財を紹介していく事業として展開したい。

#### 「禅の至宝」(文化財目録整備事業)

各派本山や、文化財を多数所蔵する由緒寺院の宝物を、保存性や再現性に優れた電子データで記録し利用するための「デジタルアーカイブ 禅の至宝」を、23年度から運用開始。協力の得られた寺院に撮影に出向くなどして、絵画・墨蹟類を中心にデジタル写真に撮影しデータベースに保存している。また同時に、専門分野の学芸員に依頼してそれらデータの日録情報を入力。

平成30年度には、滋賀県の瓦屋寺（妙心寺派）、建仁寺塔頭兩足院の悉皆調査（書籍を含む）、新たに大本山南禅寺、大分県自性寺の調査を開始した。また秋に開催した釈宗演展に向けての所蔵者への調査も春頃から行なった。これらのデジタルアーカイブス調査は、花園大学歴史博物館と強く連携して活動している。また、兩足院所蔵書籍のデータ化については、駒澤大学の禅ブランディングプロジェクトと協力し、相互補完することになっている。

#### 一般寺院什物データベース

①に連携するために優品を有する寺院所蔵の宝物のデジタルアーカイブ整備事業として、簡易なデータベースを内部で開発構築し販売を開始しているが、上記の文化財目録整備事業における調査を行なった当該寺院に、このデータベースシステムの利用を促し、所蔵品のデジタル画像と目録のデータベース化を推奨し、データ入力を完了した状態で納品している。平成30年度は、東京麟祥院のデータ、八幡圓福寺のデータ、大本山方広寺のデータ、誠拙周樗展のデータを整理中。

### 2. 資料の収集・整理・公開

#### 資料室所蔵品の整理・公開(利用)

当法人がこれまで収集してきた文献資料と新たな購入や寄贈を受けた図書の整理を行なった。蔵書には、他の図書館や資料館にはない貴重なものが含まれており、これらの閲覧も、従来通り内外の研究者や禅に関心のある一般人に無料で開放した。

また、特別展「フルーツ&ベジタブルズー東アジア 蔬果図の系譜」(11/3-12/9 泉屋博古館)において弊所所蔵の『蕪図』を出品した。

#### **WEB版所蔵墨跡展**

当法人が所蔵する書画を、ホームページ上でバーチャル墨蹟展として随時公開中。

#### **「特別展覧会」(花園大学歴史博物館と共催)**

デジタルアーカイブス事業の成果として、禅宗寺院及び当法人が所蔵する書画を一般公開し、美術に関する講演を行なう墨蹟展を花園大学歴史博物館と共同で開催する。

平成30年4月3日から6月2日まで「圓福寺 一京都八幡達磨堂 寺宝」展を、平成30年10月8日から12月8日まで「百年遠諱記念 明治の禅僧 釈宗演」展(円覚寺共催)を花園大学歴史博物館で開催した。

#### **所蔵墨蹟類の保存・修復【50周年関連事業】**

研究所所蔵墨蹟のうち、今後の展覧に耐えられるよう、とくに傷みがひどい優品を優先し、数年かけて修復する。前年度にまとまった修復を行なったため、今年度の修復はなし。

#### **黒豆データベース公開事業**

当法人がこれまで電子テキスト化してきた禅宗文献のうち、訓注本として発刊してきたものの原文データベースを、簡易検索システムと共にホームページ上で一般に無償公開中で、随時、データファイルを追加する。今年度の追加登録はなし。

#### **誠拙周樗禅師墨蹟資料収集**

大本山円覚寺中興大用国師誠拙周樗禅師200年遠諱(平成31年正当)に合わせ、円覚寺の依頼により、共同で禅師の書画墨蹟資料を収集し、情報を整理した上で墨蹟集を刊行する。今年度は、墨蹟集に掲載する資料の調査撮影、ならびに墨蹟集の制作作業を行ない、平成31年4月11日に「二百年遠諱 大用国師遺墨集」として刊行した。

#### **問い合わせに関する回答**

資料の出典や解説等について、寺院・団体・個人を問わず様々な問い合わせが数多く寄せられる。それらの回答に無料で応じた。文書で行なった回答には以下のような質問が寄せられた。

茶色い旗か幡が掲揚されている黄檗宗の絵図について(個人) / 坐禅修行をする時には「公案」の解を考えながら坐るのか(個人) / 禅浄双修に対する疑問(個人) / 釈宗演の私信について(個人) / 仏前結婚式の方式について(僧侶)(在家) 両方の法式について(寺院)「弁香」の意味について(個人) / 夢窓国師の弟子について、他3件(個人)

ほか、墨蹟や落款の読みなどを含め34件。その他電話による質問多数。

### **3. Wikipediaのデータ修正・登録事業**

インターネット上の電子辞書サイト(Wikipedia)の、禅や禅文化に関係する部分を見直し、データの修正などを行なった。

## **〈3〉 広報・普及活動**

### **1. 季刊『禅文化』の刊行**

季刊『禅文化』は、禅の思想と生活及び文化・美術などに興味を持つ読者のための教養

誌として刊行を続けている。今年度は以下の号数を発行した。

- 248号 特集「戦国武将と禅僧」
- 249号 特集「対談・禅と他宗教に通底するもの」
- 250号 特集「釈宗演老師耄百年遠諱」
- 251号 特集「なぜ「禅宗」は祈禱をするのか」

主な配布先は寺院、一般、花園大学後援会など。購読会員数2,700名。  
なお、243号より花園会館と南禅会館の客室に常備いただいている。

## 2. 研究成果の刊行

### 日本禅宗史・禅語録研究班の成果

- ①『訓注 如幻三昧集』 訓注：能仁晃道 発行：東園寺 (平成30年6月刊行)  
初版400部。 仙台藩四代藩主、伊達綱村公遠忌三百年記念出版。

### 禅宗経典研究班の成果

- ①『江湖法式梵唄抄』 改編版 臨濟宗経典研究会編 (平成30年4月刊行)  
初版1,000部 豊富な写真と図版によって江湖の法式を指南する。
- ②『ランカーに入る』 常盤義伸 (平成30年7月刊行)  
初版400部 四巻本『楞伽経』の梵文原典を復元し日本語訳と研究を付す。
- ③【重版】 『臨濟宗檀信徒経典CD』5刷 1,000部
- ④【重版】 『禅門陀羅尼の世界』オンデマンド版 100部
- ⑤【重版】 『ナムカラタンノーの世界』オンデマンド版 200部

### マルチメディア研究班の成果

- ①2019年禅語こよみ 湯島麟祥院所蔵品より (平成30年9月刊行)  
初版45,000部 禅のこころを生かしたミニ・カレンダー。
- ②DVD『鬼手仏心』 小倉宗俊 (平成30年4月刊行)  
初版2,000部 禅僧が語るシリーズ第11作。
- ③『イヤイヤきたえる健康法』 樺島勝徳 (平成30年6月刊行)  
初版1,700部 禅僧による体幹育成メソッド。
- ④『坦翁禅話』 安永祖堂 (平成31年3月刊行)  
初版1,500部 方広寺派管長就任を機に、これまでの禅エッセイを集成。
- ⑤【重版】 『禅語に学ぶ生き方。死に方。』3刷1500部

## 3. 公開講義「禅思想の諸問題」 [講師 西村恵信 (花園大学名誉教授)]

前所長による講義で、『維摩詰所説経』(鳩摩羅什訳)をテキストに一般社会人を対象に禅の基本思想を平易に教える。毎週火曜日開催を原則とし、今年度は46回開催した。約20名が参加。

## 4. ホームページの運営とコンテンツの充実

### 禅文化研究所ホームページの運営とコンテンツの充実

ホームページのコンテンツ更新および連動している臨黄ネット御用達市場にある「禅文化研究所オンラインショップ」の商品登録などを行なった。

### 臨黄寺院ネットワークの運用協力

臨濟禅を世界に発信する公式サイトである臨黄ネットの情報更新及びコンテンツ制作を行なった。毎月更新している禅語の解説には、禅文化研究所発行の書籍から選出している。

## 5. 公開講演会等

### 公開講演会

『百年遠諱記念 明治の禅僧 釈宗演』展の記念講演会として、下記の講演会を実施した。

◆平成30年10月16日（火）14:00～15:30

「釈宗演老師を思う」横田 南嶺 老師（臨濟宗円覚寺派管長・花園大学総長）

◆平成30年11月8日（木）13:00～14:30

「宗演老師と海外巡錫」西村 惠信 師（花園大学名誉教授・禅文化研究所前所長）

### 教化・運営の実践講座(サンガセミナー)

寺院の公益性が求められるなか、僧侶や寺族が、より踏み込んだ知識や技能を身につけ、寺院の活性化につなげるための実践講座。平成30年度は京都で「禅の語録講座」「日々の花講座」「地獄絵解き講座」「禅の建築講座」「佛教美術鑑賞入門」「一人整体法」「お寺で写真講座」「水墨画講座」「精進料理講座」の合計9のセミナーを開講し、一般も含めれば190名が受講した。

## 6. 広報・普及

研究成果としての刊行物を、各種媒体を通して広報し、直販、寺院売店、書店の各ルートを通じて普及促進した。

また、ブログ禅、メールマガジンの発行、あるいはTwitterやFacebookなどを利用して、より広範囲に普及した。今年度も一般向けの新刊点数が少なかったことから書店への積極的な営業活動ができなかったが、MIHO美術館・泉屋博古館・五島美術館など、各館のショップにて書籍・グッズ類を販売したほか、各地の講演会などに出展し、関連書籍の販売を行なった。

現在、売店等で頒布を依頼している本山・寺院は以下の通り（業者委託分含む）。  
妙心寺（花園会館）／建長寺／方広寺／永源寺／天龍寺／相国寺（承天閣美術館）／建仁寺／佛通寺／龍安寺（妙心）／鹿苑寺（相国）／慈照寺（相国）／神勝寺（広島・建仁）／酬恩庵（京田辺市・大徳）／東慶寺（鎌倉・円覚）／東京国立博物館／MIHO美術館（滋賀）／湯木美術館（大阪）

## II. 収益・共益等事業

### 〈1〉ソフト開発・販売等事業

#### 1. 宗教法人管理システム「擔雪Ⅱ」の販売

「財務管理」「法務管理」「会費管理」「寄付金管理」の各システムを発売中。宗門を中心に仏教諸宗への販売促進。DM（ダイレクトメール）やネット上のアドワーズ広告等を行なった。最新のWindows10にも既に対応済み。



## 2. オーダー型管理システムの構築

### **東福寺派管理システムの運用サポート**

構築済みシステムの運用をサポートした。

### **妙心寺派布教師会管理システムの運用サポート**

構築済みシステムの運用をサポートした。

### **妙心寺派白隠さんの会 会員管理システムの構築**

平成 29 年 3 月より構築を開始し、平成 30 年に納品した。

### **南禅寺派管理システムの運用サポート**

システムの機能追加要望に対応した。

### **建長寺派管理システムの運用サポート**

システムの機能追加要望に対応した。

### **曹洞宗京都府宗務所管理システムの運用サポート**

構築済みシステムの運用をサポートした。

### **曹洞宗福井県宗務所管理システムの運用サポート**

構築済みシステムの運用をサポートした。

### **天龍寺派管理システムの運用サポート**

構築済みシステムの運用をサポートした。

### **佛通寺派管理システムの運用サポート**

構築済みシステムの運用をサポートした。

### **真言宗神奈川宗務支所システム開発**

システムの機能追加要望に対応した。

### **青蓮院管理システムの運用サポート**

システムの機能追加要望に対応した。

### **藏春寺管理システムの運用サポート**

構築済みシステムの運用をサポートした。

### **永保寺管理システムの運用サポート**

構築済みシステムの運用をサポートした。

## 3. 宝物管理システム「禅の至宝」Windows 版の開発と販売

一般寺院がデジタルアーカイブデータを管理するための宝物管理システム「禅の至宝」Windows 版の開発を行ない発売中。

## 4. 出版物頒布

他社から委託を受けた禅に関する出版物をホームページやDMなどで案内し頒布した。  
主な取扱い品：「禅の語録」シリーズ（筑摩書房）、「日本の心 日暦」・「茶禅一如 日暦」・  
「干支色紙」（以上千真工芸）、「見てわかる仏事」（臨済宗青年僧の会）、「近世若州僧宝伝」  
（臨済宗相国寺派第 4 教区）、「送喪儀」（連合各派布教師会）、「版画 十牛図」（まつ九）等

## 〈2〉 共益事業

### 1. 臨黄合議所事務局

#### ○年間会議

- 平成 30 年 4 月 11 日 (水) 理事会 (大本山建仁寺)
- 平成 30 年 6 月 29 日 (金) 総会 (大本山建仁寺)
- 平成 30 年 10 月 11 日 (木) 理事会 (萬重)
- 平成 31 年 1 月 22 日 (火) 理事会 (京都ブライトンホテル)

○臨濟禪師 1150 年・白隠禪師 250 年大遠諱記録発行 (12 月 15 日・詳細版・普及版)

○平成 30 年版臨濟宗黄檗宗寺院名鑑発行 (12 月 15 日)

○「臨黄会報」の発行 (49 号・50 号)

○第 14 回臨黄教化研究会の実施 平成 31 年 2 月 6 日・7 日 (花園大学)

○臨黄互助会の促進

○中国仏教界との交流 (日中臨黄友好交流協会)

○会議等の事務処理

### 2. 寺院委託出版等

- ①『臨濟禪ハンドブック』妙心寺派宗務本所発行／平成 30 年 4 月
- ②『近世若州僧宝伝』臨濟宗相国寺派第 4 教区発行／平成 30 年 11 月
- ③『臨濟禪師 1150 年・白隠禪師 250 年大遠諱記録』(詳細版・普及版)  
臨黄合議所発行／平成 30 年 12 月
- ④『平成 30 年版臨濟宗黄檗宗寺院名鑑』臨黄合議所発行／平成 30 年 12 月
- ⑤『臨濟禪ハンドブック』花園高校版の編集を行ない平成 31 年 4 月発行

### 3. 「ジャポニスム 2018」 禅関連事業

フランス・パリで開催された「ジャポニスム 2018」における「禅文化週間」の事務局を担当した。期間は 2018 年 10 月 2 日～7 日。会場では、臨濟禅の教えを紹介するビデオ上映や、禅の修行や儀式、禅の文化などの写真パネルが展示され、坐禅会や、「知足」などの禅語をなぞって筆で書く写禅語といった体験型イベントは、毎回定員となる盛況であった。最終日には、横田南嶺円覚寺派管長による記念講演がパリ市立劇場で行なわれた。

### 4. 引導法語データベースの公開

妙心寺派教学部と共同で制作した臨黄ネット寺院会員サイト内にある「引導法語データベース (332 法語)」を公開している。今年度は更新していない。